

○2022年度プラスチックごみ削減に対する地域生協の取り組み

栃木県生協連 2023年3月3日

団体	項目	取り組み内容（数値での実績も含む）
A生協	物流資材	物流で使用している資材をバイオマス袋や紙袋などに変更したことにより、前年よりプラスチックの使用が2.0トン減となりました。 テープ類については紙製に変更したことにより前年よりプラスチックの使用が0.5トン減となりました。 物流資材高騰のため、安価な物を手配するとビニール類の削減には繋がらない現状があります。
A生協	商品	調味料については、リユースびんを使用し環境負荷を軽減しています。
B生協	容器包装等プラスチック 使用量削減	当組合は、プラスチック資源循環法の対象外ですが、プラスチックの排出量削減の取り組みとして商品トレーを紙製に変更、一部の飲料用ストローを紙製に変更、一部ボディソープの容器を紙製に変更、プラスチック包材のサイズと厚みを変更、パン袋変更、カタログ袋の材質変更により、使用量の削減（前年比：90.2%）が進み、結果として、プラスチック排出量（未回収量）の削減（前年比：88.2%）に繋がりました。また、プラスチックの回収向上の取り組みとして「みんなで戻すでCO2削減！～プラ・リサイクル大作戦～」を6月から7月にかけて全組合員に呼びかけを行い、特に、「カタログ・商品まとめ袋」の回収に力を入れました。昨年の回収実績は、45,158kg、今年は42,775kgの回収となり前年比95%と低下しましたが、回収率は27.7%（前年比：106%）と伸長しました。
C生協	リユース・リサイクル回収	行動内容：「伝える行動」として実施する、「環境・気候変動アクション2022」に合わせ、独自チラシ配布と回収強化の声掛けを「伝える行動」を行っています。 ※回収対象プラスチックの範囲：米袋・資源プラスチック（商品セット袋関連）・ペットボトル ○「環境・気候変動アクション2022」実施 □上期：「回収目標900万枚！プラリサイクル大作戦」 ⇒「プラ・リサイクル大作戦2022」についてはプラリサイクルの声掛けやリサイクルチラシの回収を組合員に伝えた。 6桁番号でリサイクル宣言に参加した組合員：822名 □下期：「目指せ！リユースびん回収率80%」 ⇒取り組み中
D生協	容器包装等プラスチック 使用量削減	フォーク、スプーン、ナイフ、マドラー、ストロー、ヘアブラシ、くし、カミソリ、シャワーキャップ、歯ブラシ、ハンガー、衣類用カバーの提供はありません。 ペットボトルは災害用品で扱う、水以外の取り組みはありません。プラスチック容器削減のためビン容器での扱いです。具体的な行動は検討中です。
E生協	容器包装等プラスチック 使用量削減	店舗で組合員さんにお渡ししているスプーン等のプラスチック製カトラリーを紙製もしくは木製に切り替えました。
E生協	リサイクル回収	2022年度は情報紙5月号・8月号・11月号・2月号でリサイクル回収受付の案内を掲載しました。

○プラスチックごみ削減に対する2023年度課題について

各地域生協で現状行っているプラスチック削減の取り組みを、2023年度さらに強化してプラスチックの使用削減をすすめていきます。